

福祉ほうあん

法人本部 A	☎250-0004 小田原市浜町1-4-38 ☎0465-22-7667 FAX0465-24-4411
小田原愛児園 B	☎250-0004 小田原市浜町1-3-8
小田原乳児園 C	☎0465-22-3523 FAX0465-22-3524
ほうあんリずのもり D	☎250-0004 小田原市浜町1-3-8 ☎080-4371-1900 FAX0465-22-3524
ほうあんのぞみ E	☎250-0004 小田原市浜町1-2-15
ほうあん生活ホーム F	☎0465-22-8837 FAX0465-22-8089
ほうあんふじ G	☎250-0201 小田原市曾我大沢7 ☎0465-41-4010 FAX0465-41-2666
ほうあんふじみのさと H	☎250-0201 小田原市曾我大沢7 ☎0465-41-4020 FAX0465-41-2777
ほうあん第一しおん I	☎250-0024 小田原市根府川389 ☎0465-29-0146 FAX0465-29-0705
ほうあん第二しおん J	☎250-0024 小田原市根府川383 ☎0465-28-2250 FAX0465-28-2251
ほうあんホームシトラス K	☎250-0024 小田原市根府川389-1 ☎0465-28-2250 FAX0465-28-2251
こどもホッと相談カフェ	☎250-0042 小田原市荻窪362-2 ☎0465-32-3020 FAX0465-32-3085

発行/社会福祉法人宝安寺社会事業部
☎250-0004 小田原市浜町1-4-38
☎0465-22-3030 FAX0465-24-4411
伝え方研究プロジェクトチーム(上田理、中山里奈、栢沼玲也、柳沢杏子、善波宏光、新倉悠、櫻井章弘、久保未希子、大水清世)
デザイン/鈴木住夫
印刷/樹セトプリント

<http://houan1900.jp>

小田原愛児園で保育士として働く府川幸貴さん



成長? 笑顔? それぞれのやりがいを求めて



ほうあん第二しおんで生活支援員として働く神尾隆二さん



ほうあんふじで理学療法士として働く柴良平さん

やりがいのある仕事とは、いったい何だろう、と考えたことはないでしょうか。やりがいのある仕事が見つからない、どんな仕事だったらやりがいを感じられるのかわからない、と悩んでいる人は多くいます。でもやりがいついて、何だろう? 「将来どんな仕事を選ぶか」ということは、「どんな生き方をするか」に繋がります。働いている人、一人ひとりにこれまで生きてきた歴史があり、その結果として現在の姿があります。働くことは生きること。皆さんは今、何を感じ、何を思っているのか、その結果として現在の姿があります。働くことは生きること。仕事をやる人たちをご紹介します。

(伝え方研究PT委員・善波宏光)

ほうあんふじ/理学療法士・柴良平さんに聞きました
試行錯誤の後で小さな変化に気づけたとき、その子と共に自分も成長できたと感じる

Q 現在の職務内容を教えてください

A 現在の職務内容は子どもたちへの個別療育です。理学療法士の仕事は、身体に何らかの障害があり運動機能歩行や座位などに問題のある人に対して座る、立ち上がる、歩くなどの基本動作の練習を通してそれらの機能の改善維持、予防を図ることです。

ほうあんふじでは、脳性麻痺や二分脊椎といった、歩くことや座ることが難しいお子さんや、低緊張(筋肉が緩んでいる状態)で歩き方が気になるお子さんに対して、歩く練習や座る練習を含めたさまざまな遊びを行い、運動機能の発達のお手伝いをしています。運動機能が発達することで、おもちゃで上手に遊べるようになったり集団生活に入りやすくなったり、遊びの幅や興味・関心が広がります。また、着替えやトイレなどの日常生活動作も自分でできることが増えて、家族の介助量も軽減され、また自信を持つことに繋がります。これらにより将来的な社会生活の自立を目指すお手伝いをしています。

Q この仕事の魅力とは何でしょうか?

A 例えは、今までハイハイで移動していた子が、毎日少しずつ歩く練習を続けたことで、運動会の競技では伝い歩きをして参加することができるようになりました。ご家族は運動会本番で歩いている姿を見てとても感動したとおっしゃっていました。別のお子さんは、身体の緊張が抜けずリラックスすることができなかつたのです

Q この仕事を教える理由を教えてください

A 理学療法士になった理由はたいしたものではありません。高校生の頃からなんとなく医療系の仕事をしたいと、でも医者になるのは大変そうだし、看護師は忙しいそうだし、どうしようかなあと思っていました。



[柴良平さんプロフィール] 国際医療福祉大学 理学療法学科を卒業後、ほうあんふじに勤務。理学療法士歴4年目。実家は横浜で、今は小田原で一人暮らしをしています

Q この仕事を教える理由を教えてください

A 理学療法士になった理由はたいしたものではありません。高校生の頃からなんとなく医療系の仕事をしたいと、でも医者になるのは大変そうだし、看護師は忙しいそうだし、どうしようかなあと思っていました。

Q 尊敬している人物とその理由を教えてください

A 尊敬している人はたくさんいますが特にこの人と挙げるならば、両親と、勉強会で知り合った理学療法士の平井孝明先生です。僕は家族が好きで、将来は自分の家

1面から続く



平井先生に
ついては、ほ
うあんふじに
来ていただき
て実際にリハ
ビリテーショ
ンをしている
場面を見させ
ていただいで
いるのですが
豊富な経験や
莫大な勉強量
からなる知識
や技術もさる

子どもの成長を見通して、子
どもに関わっていくことです。そ
れぞれの子どもの発達段階を理解し
それに合わせた成長ができるように保
育を展開しています。制作の準備、お
やつ、給食の準備をすることや、環境
整備で保育室を清潔に安全に整えるこ
とも仕事のひとつです。プライベートで
は整理整頓はあまり得意ではありません
が、子どもと生活するうえでほと
も重要なことだと思ひ、気をつけてや
っています。あとは、子どもの成長に
ついての記録をつけます。子どもに関
わるいろいろな環境を整え、子どもが
健やかに過ごせるようにするのが、日
々の仕事なのだと感じています。



て、子どもが持つ観察力や発想力に驚
かされました。大人が与えるだけでな
く子どもに気づかされ、与えてもら
うものもあるのだと感じました。また、
子どもたちに「先生、先生」と言っ
てもらえることは、とてもうれしく幸せ
なことです。クラスが離れても「先生」
と会いにきてくれる子どもいます。そ
んな、うれしいことがたくさんあるの
がこの仕事の魅力だと思います。

大人が与えるだけでなく、子どもにも 気づかされ与えてもらうものもある

小田原愛児園／保育士・府川幸貴さんに聞きました

Q 保育士になろうと思ったきっかけは何ですか？

A 高校で進路を決める際、自分が幼稚園で先生に優しくしてもらった思い出があり、子どもが好きなので幼稚園か保育園の先生になりたいと思つたのがきっかけです。自分の妹や弟の世話をしたり、従兄弟にも年下の子どもが多く、一緒に連れて遊んだりしたこともきっかけとなつたのではないかと思ひます。



【府川幸貴さんプロフィール】短大卒業後、小田原乳児園で10年勤務し、小田原愛児園に異動して5年目。イラストを描くのが得意で、子どもたちに描いてみせたり、一緒に描いて遊ぶのが好き。『福祉ほうあん』のイラストを描いたこともある

学生時代に実習を経験し、実際、就職するときいろいろ大変なこともあり、「子どもが可愛いだけじゃ、やれない仕事だな」とも感じましたが、純粋に「子どもが好き、可愛い、関わりたい」という気持ちが強くなり、なろうと決めました。

Q 今の仕事内容はどんなことをしていますか？

子どもが喜んでいれることを自分も一緒に喜ぶことが、自分にとってうれしいことです。今は2歳児の担当をしているので、給食を全部食べられた！とか苦手なものが一口食べられた！とか、それまでの大変さもありませんが「できた」と言うその子の笑顔と喜びが爆発的に出たときに、とても可愛いな、子どもらしいなと思ひます。4歳のクラスを担当したときは、会話ができるようになるなかでの面白さを感じました。お医者さんごっこをしたときは、子どもたち同士で考えて「ベッドはここね」「先生、診察券を作つて」などと遊びを工夫する姿を通して

Q この先、挑戦したいことや目標はありますか？

A 私は外で遊ぶのが得意ではないのですが、これから子どもたちの成長に合わせて楽しい鬼ごっこやゲーム遊びを考えてやってみたいと思ひます。部屋の中の遊びでは、こういう遊びをやってみよう、とたくさんアイデアが出てきます。その感覚で外での遊びのバリエーションも増やしていくのが目標です。頑張りたいです!!

Q 愛児園のことが好き！というところはどんなところですか？

A 毎日、賑やかで楽しいです。縦割り保育があり、同い年ではないお友達と関われる楽しさがあります。年下の子どもたちが年長児の遊戯などに憧れを持って「やってみたい」と目を輝かせているところや、純粋な気持ちに共感するたびに、同い年ではないお友達の関わりが素敵だなと感じます。

インタビューを終えて

インタビューした府川先生は、保育

30年目を迎えた『福祉ほうあん』は、読者の皆さまの協賛金によって発行されています。法人として、個人としてご協賛いただける方を募集しています。協賛は1号につき7000円、年2万8000円です。お申し込み、お問い合わせは社会福祉法人 宝安寺社会事業部(☎0465-22-3030)へ。

大洋物流(株)	代表取締役	稲葉 秀之	小田原市鬼柳486	☎0465-37-5533	(株)マルキ	代表取締役	鈴木 武彦	小田原市飯泉1373	☎0465-47-5437
竹広林業(株)	代表取締役	高木 大輔	小田原市寿町3-1-39	☎0465-34-6600	マルク本店	取締役会長	高井 哲	小田原市本町2-4-23	☎0465-23-0909
(有)夕チバナ商事	代表取締役	露木 康裕	小田原市中村原154	☎0465-43-0537	三宅塗装工業(株)	代表取締役	三宅 史大	小田原市浜町3-12-26	☎0465-22-3689
		田中 浩	埼玉県北足立郡伊奈町小室2241-2	☎048-721-0872		宝安寺檀家	村上 みつ系	小田原市南町4-10-15	☎0465-23-2760
茶半家具(株)	代表取締役	永井 健詞	小田原市栄町2-12-35	☎0465-23-1204	(株)村山商店	代表取締役	村山 泰久	小田原市扇町2-27-28	☎0465-34-5685
(資)ちんりう商事			小田原市栄町1-2-1	☎0465-22-4951	諸星整体施術院	院長	諸星 茂	小田原市栄町2-13-21	☎0465-22-8067
(有)鳥かつ楼	代表取締役	芹澤 孝	小田原市浜町3-1-46	☎0465-22-2078	安間医院	院長	安間 美津彦	小田原市栄町2-7-18	☎0465-23-3567
(株)西川組	代表取締役	湯川 勇二	小田原市東町1-13-35	☎0465-34-2424	山口耳鼻咽喉科医院	院長	山口 潤	小田原市浜町3-12-1	☎0465-22-2631
(有)日進電気商会	取締役	長田 皓	小田原市鴨宮287-4	☎0465-48-6288	(株)山安	代表取締役社長	山田 義征	小田原市羽根尾510	☎0465-23-0011
仁天堂医院	理事長	岡村 俊一郎	小田原市浜町1-4-15	☎0465-22-5188	横田小児科医院	理事長	横田 俊一郎	小田原市北ノ窪515-3	☎0465-34-0666
(株)長谷川建材社	代表取締役	長谷川 誠一	小田原市浜町1-1-35	☎0465-22-1346	吉井整形外科	理事長	吉井 新一	小田原市栄町2-15-16	☎0465-24-5151
(有)花のコウノ	代表取締役	河野 秀雄	小田原市栢山2421-3	☎0465-37-2882	読売センター小田原中央	代表	坂本 敬一	小田原市中町3-10-11	☎0465-21-0312
浜野電気管理事務所		浜野 喜一	小田原市矢作321-6	☎0465-48-7475	読売センター小田原報徳	所長	綿貫 徹	小田原市堀之内1	☎0465-36-3683
平原眼科クリニック	院長	平原 敦子	小田原市南鴨宮3-44-3	☎0465-47-9330	読売センター小田原西部	代表	高田 正	小田原市扇町2-7-15	☎0465-35-0746
古橋産婦人科医院	院長	古橋 進一	小田原市南町2-1-43	☎0465-22-2716					
(有)古屋花店	取締役社長	古屋 正広	小田原市栄町1-14-16	☎0465-22-3043					
文化堂印刷(株)	取締役社長	萩野 健治	小田原市寿町1-10-20	☎0465-34-9206					
(株)ホンダ販売小田原	代表取締役	太田 茂雄	小田原市寿町5-10-21	☎0465-34-8012					
(有)松坂屋	取締役社長	越川 俊雄	小田原市栄町1-16-46	☎0465-22-3020					



【神尾隆二さんプロフィール】63歳。元セブン-イレブンのオーナーで、定年後、かねてより縁のあった 宝安寺社会事業部に再就職。前職の経験を活かして活躍中

Q 宝安寺社会事業部との出会いはいつでしたか？

ライフワークだった商店経営の経験も活かして、皆の笑顔を生み出す人生の大先輩!!

宝安寺社会事業部との出会いは、今から40年くらい前になります。ほうあんふじが富士学園という名前の頃で、私とその近く（小田原市飯泉）で「フレッシュママの店」という商店を開店したのがきっかけでした。昔は富士学園の園児たちが先生に連れられて、よくウチの商店に買い物体験に来てくれたのを思い出します。

あと、「ママの店」開店前のことですが、当時、まだ皇太子ご夫妻だった天皇皇后両陛下が富士学園をご訪問なされたのをよく覚えてます。あのときは両陛下のお姿を拝見にいきましたね。それに、運動会と夏祭りに毎年招待してくれたのもうれしかったです。あの頃の運動会は飯泉観音の境内でやってたんですよね。今の理事長が毎年温かく迎え

中によく笑います。保育中でなくても同僚といふときに笑っていることが多いです。大きな声で笑う府川先生の周りは、とても明るく温かい雰囲気になります。よく「保育士は子どもが好きなだけではない」と言われますが、長く保育士として勤めている府川先生はどんな思いを胸にこの仕事を続けているのか聞いてみたいくなり、今回、インタビューをしてみました。

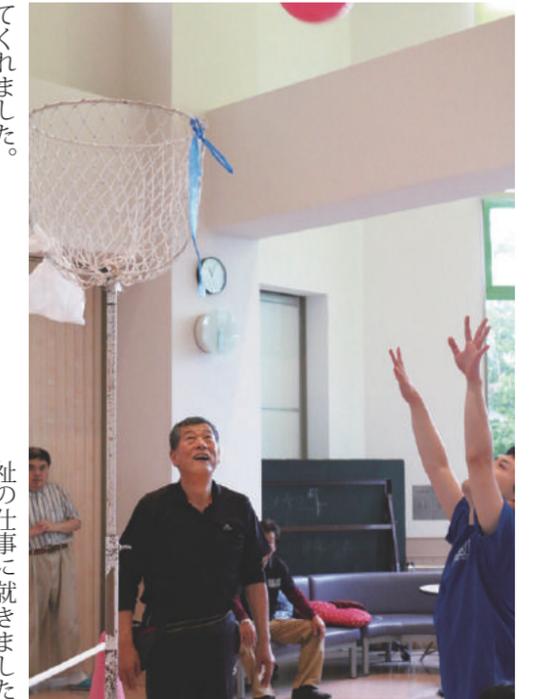
子どもは日々、成長します。けれどもその成長はとも小さいものです。その成長を見逃さず気づけることは、保育士としての才能だと感じることもあります。私たちが大人にとって、子どもたちが過ごす毎日は当たり前前の連続ですが、子どもの世界では、その一つひとつが感動であり、喜びであり、発見なのです。乳児保育、幼児保育を経験している府川先生にとっては、子どもたちの成長がどんなものか見通すことができるけれど、それでも日々、新鮮

Q 宝安寺社会事業部に勤める前はセブン-イレブンのオーナーをしていましたと聞きましたが……

「ママの店」を開店してから25年ほどで、商店をセブン-イレブンに変えました。ウチは昔からの商店だから、お客さんは変わらなかつたけれど……。セブン-イレブンにしてから13年間私がオーナーをやって、定年になったから今は息子に引き継いでます。セブン-イレブン小田原飯泉店・扇町店を、皆さん、よろしく!!

Q なぜ、福祉の仕事を選んだのでしょうか？

富士学園の行事に呼んでもらったときに、理事長と「最後の仕事はこういう人の役に立つ」仕事がいいよねって話をしました。60歳になつたときにも相変わらずそう思っていたので、縁のあった宝安寺社会事業部に相談しました。まあ、セブン-イレブンは休みも少なく大変だったからっていうのもあるけど……。今は妻も宝安寺社会事業部のふじみのさとで働いています。仲良しなので職場も一緒です。



富士学園の運動会に招かれたときに、園児が自分たちができることを本当に一生懸命やっていた、自然と涙が出てきました。その姿に感動して、何かを貸せないかと思いつ

Q 福祉の仕事をやってみてどうでしたか？

ほうあん第二しおんでは、利用者さんの生活支援（食事介助やオムツ交換など）や送迎業務、短期入所事業の宿直業務をしています。その他に事業所の園芸活動を担当していて、前職を退職してから始めた家庭菜園の延長のような作業に、皆で楽しみながら取り組んでいます。

Q どんなことにやりがいを感じていますか？

給料のことなんかは一切考えず、障害のある方のためになにかをしたいと思つてこの仕事に就いたわけですから、それができていることが既にやりがいでもあります。あとは、前職との繋がりを活かして、セブン-イレブンの清掃業務を、ほうあんのぞみの利用者さんの就労先として開拓したり、店舗のレジ前にのぞみの商品を置くなどの取り組みが形になったのはうれしかったですね。セブン-イレブンに納品したのぞみのクッキーが、とにかくよく売れる。二重の喜びですよね。

宝安寺社会事業部とのご縁はとても前からですが、このようにしてやってきたことに繋がりが生まれるのは、私のライフワークであった商売人の仕事がとても意味のあるものであったように思えてうれしく感じます。今後は、ひとまず65歳まで頑張ろうと思つています。最近では法人内の催し物で焼き芋を焼いて回ったりして、利用者の皆さんに私のことを知ってもらえてきました。焼き芋おじさん、頑張ります!!

私たちは『福祉ほうあん』発行に協賛しています

あおのペットクリニック	代表取締役	青野 浩之	小田原市府川31-2	☎0465-32-0010	(有)環境技研	代表取締役	立花 春夫	厚木市戸田2443-1	☎046-229-6856
(有)飯山新聞店	代表取締役	飯山 修	小田原市鴨宮26	☎0465-47-5422	(有)久野石材	代表取締役	瀬戸 誠次	小田原市久野154-17	☎0465-34-4096
行政書士 池田聡事務所	行政書士	池田 聡	小田原市久野307-8	☎0465-34-4820	くわばら歯科医院		桑原 敏樹	小田原市浜町1-1-29	☎0465-22-5565
(株)伊勢治書店	代表取締役	筒井 正博	小田原市中曾根78-6	☎0465-36-2190	河正会ここの歯科診療所	理事長	河野 力	小田原市鴨宮601-5	☎0465-48-5455
(有)伊勢屋	代表取締役	大矢 雅一	小田原市本町3-6-22	☎0465-22-3378	小林病院	理事長	小林 泉	小田原市栄町1-14-18	☎0465-22-3161
(株)寝具の店 井上	社長	井上 久嘉	小田原市栄町2-10-13	☎0465-22-3141	さがみ信用金庫	理事長	片桐 晃	小田原市浜町1-4-28	☎0465-24-3161
(有)魚由商店	代表取締役	湯川 弘	小田原市曾比1776	☎0465-36-0019	三洋美装		渡瀬 剛行	小田原市桑原867-14	☎0465-37-4363
(株)大菊商会			東京都世田谷区桜丘3-37-18	☎03-3426-5321	(株)三和消毒	代表取締役	野島 謙次	小田原市久野851-4	☎0465-34-3395
(株)大村楽器店	代表取締役	福田 良治	小田原市栄町2-11-28	☎0465-22-7132	渋谷歯科医院		奥津 明美	小田原市本町1-1-8	☎0465-22-0418
(有)オザワ	代表取締役	小澤 宏治	小田原市栄町2-13-44	☎0465-22-2280	(株)ジャクエツ藤沢店	店長	牧野 宏章	藤沢市大鋸1203-9-10	☎0466-27-0611
(株)小田原ジムキ	取締役会長	山田 克己	小田原市浜町1-2-5	☎0465-23-0105		宝安寺檀家	杉崎 喜久江	小田原市東町2-2-10	☎0465-34-7254
(株)小田原城カントリー倶楽部	代表取締役	瓜谷 綱延	小田原市根府川667	☎0465-29-0111	杉崎茂法律事務所	弁護士	杉崎 茂	小田原市本町2-3-24	☎0465-24-1860
小田原報徳自動車(株)・太陽自動車(株)	代表取締役	曾我 良成	小田原市浜町1-6-8	☎0465-22-8181	杉本登記測量事務所		杉本 卓司	足柄上郡松田町松田惣領2173	☎0465-82-6606
(株)籠 清	取締役社長	石黒 駒士	小田原市本町3-5-13	☎0465-22-0251	鈴木電設	代表	鈴木 三夫	小田原市中里75	☎0465-42-2525
神奈川トヨタ(株)小田原中央店	店長	高橋 修	小田原市扇町1-19-3	☎0120-673-611 ☎0465-32-7411	(株)スポーツプラザ報徳	代表取締役	安藤 博二	小田原市堀之内458	☎0465-37-4600
かものみや耳鼻咽喉科	理事長	鈴木 正彦	小田原市南鴨宮3-33-16	☎0465-48-4133	(株)西湘広告社	代表取締役	諸星 晃	小田原市東町4-4-12	☎0465-35-5573
鴨宮自動車学校	代表取締役会長	井上 三郎	小田原市南鴨宮2-32-4	☎0465-47-2147	(株)セキグチペーパー	代表取締役	関口 和敏	小田原市東町3-2-1	☎0465-32-7311
川邊小児科内科医院	理事長	川邊 修二	小田原市酒匂5-13-38	☎0465-47-2351	(株)セトプリント	代表取締役	瀬戸 和美	小田原市久野470-6	☎0465-34-3211
					(株)瀬戸米穀店	代表取締役	瀬戸 秀幸	小田原市本町1-9-47	☎0465-22-4125

社会福祉法人 保安寺社会事業部 平成26年度事業報告

小田原乳児園

[小さいお子さん(0~1歳)の保育園]



「表現の場として、表現の場として、表現の場として」

- ・ 幼いお子さんたちの安心・安全を守るために、病気とは別に、事故・けがの報告書を工夫しました。けがの発生箇所や保育者の関わり方をしっかり把握できるようになり、予防だけでなく、発達にあった遊びにもつながりました。職員みんなが情報を確認、共有することで、園児一人ひとりが見える保育を心がけました。

- ・ 子育てオアシス(愛児園と合同で実施)の利用者のべ1531名。担当保育者が遊びをリードし、育児相談を受けながら親子でホッと一息つける場を提供。
- ・ れんげ組(一時預かり保育)の利用者のべ618名。

小田原愛児園

[2歳~就学前までのお子さんの保育園]



「クーンと伸びてロケットのポーズ」

- ・ 子どもたちの体力向上を目指し、毎朝、元気に体操。一日を爽やかな気持ちで始めることができるようになりました。体力が付くことで災害時の安全な避難にも繋がっていくことができます。
- ・ 法人内では、ほうあんふじ、ほうあん第二しおん、ほうあんふじみのさとと楽しい施設間交流を行いました。
- ・ シャーリー先生の英語であそぼう、アンサンブルソノレによるクリスマスコンサート、電車乗車・洗車体験(大雄山線)、その他多くのゲストティーチャーの皆さんと出会い、ふれあうことができました。

ほうあんふじ

[地域の子どもたちのための「児童発達支援センター」です]



「絵本、大好き!! 楽しいね!」

4月に吊り遊具設置の工事が完了し、OT訓練・感覚統合遊びなどで有効に活用しています。全園児に対してOT・ST・心理士が評価を行い、連携を取りながら個別支援計画書を作成し、子どもの様子を家族にわかりやすく伝えることができました。また、職員の資質向上のため研修やケース検討会を積極的に行いました。小田原市の早期発達支援事業への参加や小学校・養護学校など外部との連携も行い、子どもたちへの支援が広がりました。

こどもホッと相談カフェ

[福祉サービスのご利用に沿った計画相談(サービス等利用計画)を実施]



「お気軽に こそすくたさーい」

- ・ 相談支援専門員の体制強化を行い、専門員3名、兼務1名にて、さまざまな課題を持たれた相談者の計画相談に取り組みました。
- ・ おだわら障がい者総合相談支援センター(クローバー)に月~金曜日まで出向し、地域で暮らす方々の困り感に寄り添えるよう、さまざまな障害(精神、知的、身体、発達、難病など)の一般相談を行いました。
- ・ 相談員の資質向上を目指し、ケース検討会議、各研修に参加しました。

ほうあんのぞみ

[障害のある人の就労支援、余暇支援などを行っています。クッキー、サンドイッチ、ネパールカレーなどの製造販売もしています]



「施設外就労の様子。仕事って大変だけど楽しい!」

- ・ 利用者として企業などに出向いて仕事をする「施設外就労」を、市内の会社など8箇所で行いました。
- ・ 地域のイベント(フットサル大会、地球市民フェスタ、小田原屋台フェスタ、小田原ツーデーマーチ)でネパールカレーなどを販売し、たくさんのお客さまに食べていただきました!
- ・ 小田原市浜町付近の地域清掃を10回行いました。
- ・ ハローワーク小田原などとの連携により利用者7名が企業に就職しました。

ほうあん第一しおん

[就労に向けた訓練や、利用者の特性に合わせた作業を提供しています。また、生活介護事業や養護学校、特別支援学級の生徒を対象とした放課後等デイサービスの活動を行っています]

- ・ 新たにダンボール工場での施設外就労を開始しました。
- ・ 利用者2名が就職しました。
- ・ パン工房「グウテ」では地産地消の商品開発、消費者ニーズを意識した新商品の開発、利用者の意識改革を行いました。
- ・ 放課後等デイサービスの利用人数は、一日約3名増えて、平均8名となりました。



「細かい作業もお手のもの!」

ほうあん第二しおん

[重い障害のある方たちが、楽しんで活動し、充実した毎日を送るための支援をしています]



「入居者セントラルに慣れてきました」

- ・ 「重度障害のある方の生活を支える」ことに試行的に取り組み、「利用者の自分らしさの実現」にも取り組みました。
- ・ 県西地区初となる「重症心身障害者グループホーム」の安定運営のために、健康状態の情報共有と他職種との連携の仕組みを作りました。
- ・ 土曜日に17回「しおんミントカフェ」イベントを企画し、地域と交流する機会を増やしました。
- ・ 個人の特性や思いに応じた目標の設定を大切に、権利擁護意識を高く持った利用者支援を行いました。

ほうあんふじみのさと

[障害のある方たちが共に生活し、活動する場です。26年度は10年目という節目の年でした]

- ・ 通所部門では、ビーズを使った作品作りを行い、支援の充実を図り、余暇活動では夏にはプールに行き、秋にはハロウィンパーティーをしたり、日帰り旅行に行ったり、季節に合った日課を楽しむことができました。
- ・ 入所事業では、居室を増やしたことで新たな短期利用者を6名受け入れることができました。また、緊急に利用したい方も受け入れることができ、地域貢献という入所施設の使命のひとつを果たすことができました。



「ドライブでフラワーガーデンに行きました」

平成26年度決算については、法人全体の事業活動の収支差額(損益)は約1億4000万円のプラスとなり、総資産は5340万円増え、将来の事業展開に向けて備えることができました。このことは、地域の皆さまの応援や行政のご指導の賜物であり、全事業所の職員一人ひとりが園児・利用者・ご家族のために、力及ばずながら少しでも良い保育・支援を提供しようという取り組みの結果であると思えます。

しかし、27年度より始まる「複合型福祉拠点の施設整備への自己資金約3億円の投資、ほうあんふじに通う子どもたちのための環境整備、ほうあん第一しおん・第二しおんのメンテナンスと将来の建て替え、今後さらにニーズの高まるグループホームの整備等を考えると、将来的にはかなりの規模の投資が予測されます。そのため、今後もこれまでに以上に堅実な事業運営を行う必要がある、二宮尊徳翁の唱えた報徳仕法にある分度と推譲(それぞれが分に応じた生活を守り、余剰分を拡大再生産に充てること)に学び、これを実行していきたいと思えます。

社会福祉法人の運営は、国や県、市町村からの運営費等、および市民の皆さまからの尊いご寄付によって成り立っています。今後も地域の福祉を担う一員として、国の考えや

(単位:万円) 平成26年度決算 貸借対照表 (平成27年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
流動資産	61,923	流動負債	12,191
現金預金	44,890	未払金	3,048
未収金	16,768	1年以内返済予定借入金	3,390
棚卸資産	70	賞与引当金	4,717
その他の流動資産	195	その他流動負債	1,036
固定資産	264,837	固定負債	38,985
基本財産(土地・建物)	214,201	設備資金借入金	32,090
その他の土地・建物・構築物	11,254	退職給付引当金	6,895
器具及び備品	6,768	負債の部合計	51,176
車両運搬具	1,513	純資産の部	
その他の固定資産	119	基本金	60,359
退職給付引当資産	6,895	国庫補助金等特別積立金	106,017
積立資産	24,087	その他の積立金	24,087
資産の部合計	326,760	次期繰越活動収支差額(うち当期分 14,403)	85,121
資産の部合計	326,760	純資産の部合計	275,584
資産の部合計	326,760	負債及び純資産の部合計	326,760

決算の詳細についてはHP(<http://houan1900.jp>)をご覧ください。

平成26年度決算については、法人全体の事業活動の収支差額(損益)は約1億4000万円のプラスとなり、総資産は5340万円増え、将来の事業展開に向けて備えることができました。このことは、地域の皆さまの応援や行政のご指導の賜物であり、全事業所の職員一人ひとりが園児・利用者・ご家族のために、力及ばずながら少しでも良い保育・支援を提供しようという取り組みの結果であると思えます。

しかし、27年度より始まる「複合型福祉拠点の施設整備への自己資金約3億円の投資、ほうあんふじに通う子どもたちのための環境整備、ほうあん第一しおん・第二しおんのメンテナンスと将来の建て替え、今後さらにニーズの高まるグループホームの整備等を考えると、将来的にはかなりの規模の投資が予測されます。そのため、今後もこれまでに以上に堅実な事業運営を行う必要がある、二宮尊徳翁の唱えた報徳仕法にある分度と推譲(それぞれが分に応じた生活を守り、余剰分を拡大再生産に充てること)に学び、これを実行していきたいと思えます。

社会福祉法人の運営は、国や県、市町村からの運営費等、および市民の皆さまからの尊いご寄付によって成り立っています。今後も地域の福祉を担う一員として、国の考えや

ご寄付・ご寄贈

小嶋 章 司様	20,000円
名様	10,000円
名様	トランポリン
古屋 花 店様	園児の七夕飾り用の笹

神奈川県、小田原市を中心とした県西地区市町の意向、並びに市民の皆さまの福祉ニーズの把握に努め、この地域の発展に貢献していきたいと思えます。

※1 25年度は以下の投資を行いました。
 ①重症心身障害者対応型グループホーム建設
 ②今後の福祉事業展開のための土地取得
 ③短期入所室の増築
 ④大災害に備えての太陽光発電システムの導入

平成26年度決算報告

社会福祉法人 保安寺社会事業部